

真理子先生の

女性の ミカタ

子宮頸管ポリープ



院長
伊藤 真理子

●(いとう・まりこ)1986年山形大学医学部卒業。山大病院、篠田病院を経て2005年6月に真理子レディースクリニックを開業。日本産科婦人科学会認定産婦人科専門医。

子宮がん検診で「子宮頸管ポリープ」を指摘された方はいらっしやいませんか？

過度の心配は無用

子宮頸管ポリープは子宮の頸管の表面が盛り上がり、子宮の外まで垂れ下がってくる病気です。

大半が無症状ですが、不正出血や性交後出血で受診し、その原因が頸管ポリープだったということもしばしばあります。大きさは米粒大から親指頭大までであり、診察時に視診で診断されます。診断された際には婦人科での受診を勧められるため、不安を抱かれる方

も多いでしょうが、結論から言えば過度の心配は無用です。がんなど悪性のものに変化することはほとんどありません。

治療は簡単

治療は通常、ポリープが小さければ外来内診室で入院や麻酔の必要もなく、器具でポリープをねじり取ります。まれに根っこが太い場合や子宮内の奥深くに発生している場合はレーザー焼却、電気焼却などの処置となり、入院が必要になります。

検査に提出します。病理検査の結果、悪性の部分がなく最終的に「子宮頸管ポリープ」と診断されれば安心です。ただ良性のポリープでも数年後に再発することがあります。

子宮腔部びらん

また子宮がん検診で「子宮腔部びらん」と診断されることもありま

汚れていた場合や、多い場合は病院で病原体などを調べて適切な薬で治療してもらおうと落ち着くことでしょう。



〈産婦人科〉

真理子レディースクリニック

☎023-632-0666 山形市小姓町 6-35

●受付時間

【平日】午前/8時30分～12時
午後/14時～17時

【木曜】午前/8時30分～11時

【土曜】午前/8時～11時

●休診日

日・祝祭日

木・土曜日は午後休診となります。

